



浦和区 木崎小学校 教諭 高田 郁代

1 はじめに

本校は、開校138年を迎えた歴史のある学校である。北浦和駅や与野駅に近い住宅街にあり、保護者、地域の方々の学校に対する期待、関心は高い。

本校では、平成23年度から2年間、さいたま市教育委員会の委嘱を受け、「教育課程」・「ハッピースタート！1年生」の研究について、国語、社会、生活の3教科（パート）を中心に、研究主題「心豊かで、生き生きと学ぶ子どもの育成～『思考力・判断力・表現力』を育成する教育課程の創造～」の具現化を目指して、実践研究に取り組んできた。

2 組織で取り組む研修

本校では、全職員がそれぞれのよさを発揮することで役割を果たし、意欲的に研究を進めている。

例えば、1学期には、各パート長がパートの研究方針を明確に示し、研究授業を提案し、全職員で共通理解を深めた。



「木崎小モデル」を展開する国語パート長

2学期には、各パートのベテラン教師が積極的に研究授業を行い、研究を一層深めるとともに、ベテランならではの指導技術を若手の教師に伝えた。



ベテラン教師が若手教師に伝える指導技術

そして、3学期には、これまで深めてきた研究を基に、各パートの若手教師が、「木崎小モデル」授業を市内外に公開した。（全学年）

3 学び合い、輝く教師

研究授業後に行う協議会は、全職員による活発な話し合いが行われる。それは、各自が事前に指導案を読み込み、授業について十分理解した上で参加するところから始まっている。

協議会では、まず、授業の成果と課題、手だての効果などについて、自分の考えをワークシートに記入してから、グループに分かれて話し合う。その際、指導者の先生方には、グループごとに個別指導をいただく。

次に、全体での話し合いに入ると、各グループからの発表、意見交換、そして指導者からの全体指導へと進める中で研究を深めている。

グループは、授業について質疑応答ができるように、各パート部員が一人ずつ入るとともに、パートの重なりと年齢構成に配慮し編成している。

4 まとめ

全職員が心をひとつにして進めてきた研修を通して、児童の考える力等がはぐくまれ、教師の指導力も向上したと実感している。